

## ICT 通信5月号

平成26年度が始まりました。ICT ではメンバーの入れ替えや、今年度の方針が新しく発表され、心機一転“今年も頑張るぞ！”と自分に気合を入れたところで、今回の ICT 通信は今年度の ICT の活動予定についてお伝えしたいと思います。

今年度は、当院病院機能評価の更新の年です。前回の受審がついこの間のように感じていましたが、月日が流れるのは早いものですね。今回の受審も前回同様クリアできるように準備をしていきたいと思います。マニュアル等は、日頃こまめにチェックしているので、大きな変更は必要ないと思いますが、職員の教育は是非力を入れていきたいと思っています。以前は、時間外のセミナーが多く職員への負担が大きかった為、時間内で短く、しかし、日頃の業務に活用できて基本的習慣をつけることが出来る内容をと教育担当者が知恵を絞り計画しています。年度末に今年の教育結果がプラスになって評価出来る事を楽しみにしています。また、一人でも多く参加し、楽しく学んでもらえる事が出来れば良いと思います。

次に、近年感染性の疾患が、猛威を振るう事がしばしばニュースで取り上げられています。インフルエンザや結核、麻疹、ノロウィルス等皆さんも耳にしたことがあるのではないのでしょうか。

当院は循環器疾患専門病院ですが、受診される患者の方が循環器疾患以外の感染性疾患を持って受診・入院されることがあります。他の患者や家族、職員へ感染を拡大させないために、異常に気付くための知識や、その時々に対応できる対策を検討し ICT メンバーがリーダーとなって拡大を食い止めていけるよう働きかけていきたいと思っています。そして、昨年同様に院内の定期的な見回りであるラウンドの実施や、感染を早期発見、フォローするための監視システム・サーベイランスの実施は継続して行なっていきたいと思っています。中部感染ネットワークや東部の感染ネットワークへも参加し積極的な情報の交換を行っていきたいと考えています。

このように1年間頑張っていきたいと思いますので、今後の ICT 活動に是非ご期待下さい。